

朝日の「宝物」たちのために

朝日地域学校運営協議会だより

令和8年2月 第3号



令和8年2月18日に、朝日中学校を会場として令和7年度第3回目の朝日地域学校運営協議会が開催されました。

学校運営協議会は「地域の子どもたちにどんな教育が必要かということのを学校・家庭・地域がともに考える場で、地域とともにある学校づくりが進むとともに、より良い学校をつくるのがより良い地域づくりにもつながるというねらいで行うもの」です。

このおたよりは、小中学校の全保護者の皆様には文書で、そして朝日地域及び朝日地域に関わる全ての方々の目にも届くよう、情報を発信するためのツールの一つとしてあさひ小・朝日中それぞれのHPに掲載いたします。

さて、今回は「今年度の学校評価アンケート・来年度の学校運営」についての報告と今年度の本会の活動について協議する場といたしました。また、オブザーバーとして生田浩樹先生にもご参加いただきました。生田先生は朝日地域との縁も深く、また、県教育委員会に在職中には県のコミュニティースクール立ち上げにも関わられたとのこと。県内外の熟議に参加されたご経験から、貴重なご発言を頂戴しました。以下に議事録を掲載いたします。

【協議】座長：蛸井由美子会長

(1)あさひ小学校の報告(芳賀 恵美 あさひ小校長)

□学校評価について

- ・全体的に楽しく学校に登校できている。
- ・いじめ対応についての児童からの訴えがあるので、個別に聞き取りや対応を進め、気持ちの安定をはかっていきたい。

□今年度の報告と次年度の学校経営構想について

- ・小中一貫教育について、今年度は様々な行事で小中交流を積極的に行った。(合唱、学習発表など。)
- ・今後の児童数の減少に伴い、PTA 組織の再編やブロック担任制、教育課程の工夫(複数学年での行事、AB年度方式など)に取り組みながら課題に向き合っていきたい。



(2)朝日中学校の報告(會田 健 朝日中校長)

□学校評価について

- ・大半の生徒が学校生活は楽しいと答えている。しかし、学校生活と比べると授業については楽しいと答える割合が低くなっているので、授業改善をさらに進めていきたい。また、メディアコントロールは、生徒保護者とともに課題としてとらえている。いじめの対応は今後も丁寧に取り組んでいきたい。

□今年度の報告と次年度の学校経営構想について

- ・今年度、地域学校協働活動事業で皆さんからご協力いただき、多種多彩な交流と経験ができた。
- ・学校目標の「自立、協働、貢献」を来年度も継続して取り組み、すべてに関連する「地域語り合い」には今後も力を入れて取り組みたいと考えている。
- ・来年度は、大きな行事の時期が変更になる予定。
体育祭9月→6月 修学旅行5月→7月



(3)今年度の本会の活動について(熟議)

後藤誠氏 メディアは保小中で深刻な課題。保育園でも荘内病院の阿部裕先生から御講話をいただいた。架け橋期のカリキュラムを作成した。年長組と小学校1年生の交流も実施した。さらに連携を進めたい。

蛸井会長 スポ少やクラブでも生活指導(メディア)が必要と話題になった

山口弘美氏 中学1年生の除雪ボランティア実施は2年目となった。今年度は朝日中同窓会長や元あさひ小学校長などの地域住民も加わり実施できた。受け入れた高齢者との交流も良かったし、中学生からの寄せ書きには「自分も人の役に立てるとわかって嬉しかった。将来人の役に立つ人間になりたい。」との記述があった。将来への展望にも繋がった。この活動はぜひ継続していきたい。

會田健校長 各家に教員1名では緊急の対応ができなかったと思う。地域住民の方がついてくださり助かった。

土田三香子氏 教職員の働き方改革について朝日地域ではどう受け止めているのだろうか。働き方改革は、教師が楽をするためではないということ、校長先生から地域に発信してほしい。また、夏休み塾の際の子供たちの言動から、どの子も先生方から「自分の頑張る姿を認めてほしい。」と思っていると感じた。ぜひその気持ちを受け止め、認めてやってほしい。

蛸井会長 学校の先生が地域を知ることも大切だと思う。中学校に家庭科専科の先生がいないため、小野寺美智子さんにミシン先生をしていただきましたが、いかがでしたか。

小野寺美智子氏 楽しい機会だった。学校以外の場所でも会えば挨拶してくれる。今後も声をかけていただければ参加したい。小学校の図書支援もしているが、もっと本を読んでほしい。

井上恵美子氏 東部地区は、小学校1名、中学校各学年1名、計4名に減ってしまった。しかし、どの子も地域に愛され、地域行事にも積極的に参加してくれる。コロナ以降、行事自体が減っているし、部活等で参加できない様子もあるが、参加したい気持ちはある。夏休みの塾も頑張っている。

齋藤健一氏 地域語り合いは今回3年目。今年度は2年生の発表だったが、地域づくり推進課でも中学生のアイデアを実現できないかと考え、現在進めている段階。例えば地域のキャラクターを使ったキーホルダーやクマの牙をつかったアクセサリーなどが話題には上がっている。

蛸井会長 今回のテーマが「自分を知る」だったため、話し合いの深まりは今一つだったかもしれないが、2年生からのアイデアはたくさん出たようだった。

山口弘美氏 自分の夢の実現や自分の良さを地域づくりに活かしていくために、生徒が今の自分に立ち返ることや、自分を振り返る時間が必要ではないかと感じた。

渡部純一氏 語り合いの時間は足りなかったかもしれない。アイデアを話す機会としては重要。ジュニランは地域の縮図。活動の中で小学生の異学年間トラブルは存在する。先日、スポ少の児童生徒と保護者がJA女性部と調理教室と一緒に参加した。大変よい地域交流になった。

小野寺幸則氏 やまがた教育パートナーズの活用あればお願いします。保育園も体験学習実施可能。

山口弘美氏 小学校のブロック担任制について 教師の特性を生かして配置すると良いと思う。

蛸井会長 今回、保小中の連携が確認できたし、地域との関りも確認できた。大変よかった。

生田浩樹氏 経験上、コミュニティスクールが成功している地域には、共通する条件が3つある。①地域に明確な課題意識がある。(少子化、統廃合、非行など)②地域の課題をみんなで共有できている。③強力なコーディネーターが力を発揮している。※コーディネーターには地域のことをよく知っている、地域外の方の良さがある。朝日地域は委員の皆さんがそれぞれ熱い思いを持っていて、それぞれの立場から発言している。また具体的な取り組みが素晴らしい。今後に向けて、①少子化で0歳児から中学卒業まで固定化した集団で成長する強みや課題は何か。②働き方改革と地域学校協働活動の2つは並び立つのか。生徒をどんどん地域に出してくという會田校長の考えは素晴らしい。③メディアの課題。地域をあげて同じ取り組みができないか。会長から会のマンネリ化に刺激をということで声をかけていただいたが、この会をいかに長く存続させるかが大切だと思う。みんなで思いを共有することが大事。成果はこの会が続いている過程であり、朝日の子どもをずっと見守り続けることだと思う。

後藤誠氏 2月14日～23日 合同卒園展がアートフォーラムで開催されるのでぜひご覧いただきたい。

以上、議事録をもとにお伝えいたしました。今後の本会の活動にご理解とご協力、よろしくお願いいたします。尚、長年委員を務めていただいた主任児童委員の土田三香子氏は今年度でご退任となります。ありがとうございました。

発行：朝日地域学校運営協議会事務局

